

# 平成 30 年度 市政世論調査

## 報告書 概要版

この報告書概要版は、平成30年6月22日～7月6日にかけて実施した「平成30年度市政世論調査」の主な結果をまとめたものです。

### < 目次 >

I. 調査の概要	1
II. 調査回答者の属性	2
III. 調査結果	4
1. 暮らしや居留意向について	4
2. 人権全般に関する意識について	5
3. 市内の公共交通について	6
4. 景観（風景）について	7
5. 越谷市への愛着度と魅力発信について	8
6. 男女共同参画について	9
7. 地域医療体制について	11
8. 空き家について	12
9. 自治基本条例について	13
10. 平和事業について	14
11. スポーツ・レクリエーションの実施状況について	15
12. 保健事業について	16
13. 自殺防止について	17
14. 越谷市の伝統的手工芸品について	18
15. 地場農産物や地産地消について	19
16. 自転車を活用したまちのにぎわい作りについて	20
17. 越谷市公式ホームページについて	21
18. 広報について	23
19. 越谷市の施策について	24

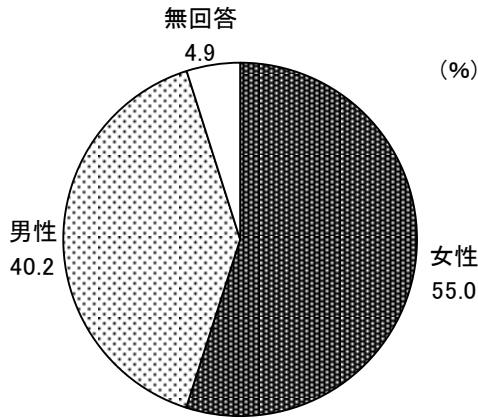
### I. 調査の概要

- ◆ 調査地域 : 越谷市全域
- ◆ 調査対象 : 市内在住の18歳以上の男女5,000人
- ◆ 抽出方法 : 住民基本台帳より無作為抽出
- ◆ 調査方法 : 郵送法（郵送配布・郵送回収）
- ◆ 調査期間 : 平成30年6月22日～平成30年7月6日
- ◆ 回収結果 : 有効回収数2,368人 回収率47.36%

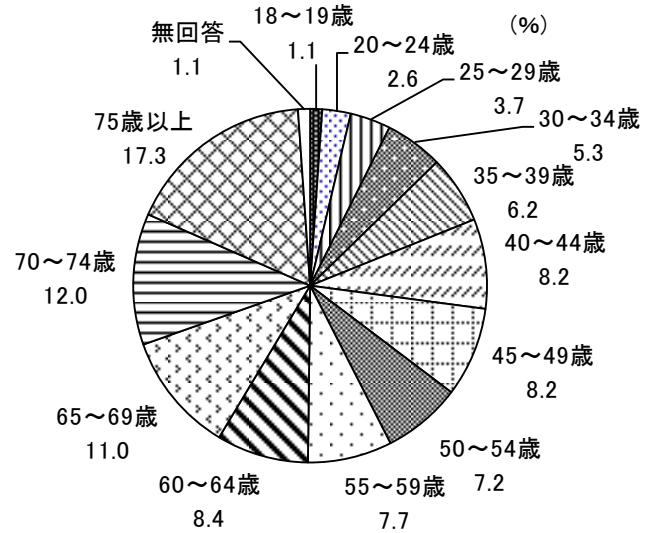
## II. 調査回答者の属性

回答者の属性は以下の通りである。

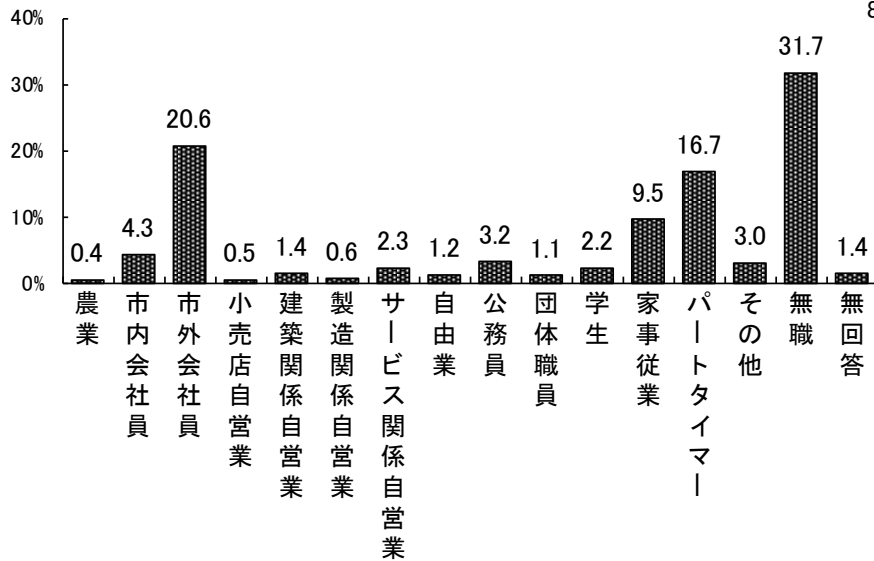
### ◆性別 (n=2,368)



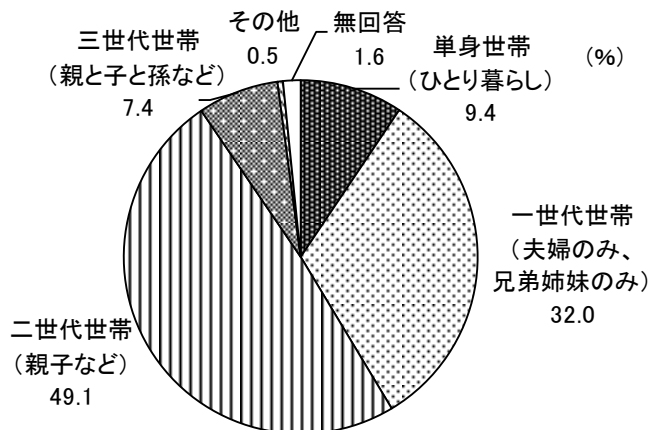
### ◆年代 (n=2,368)



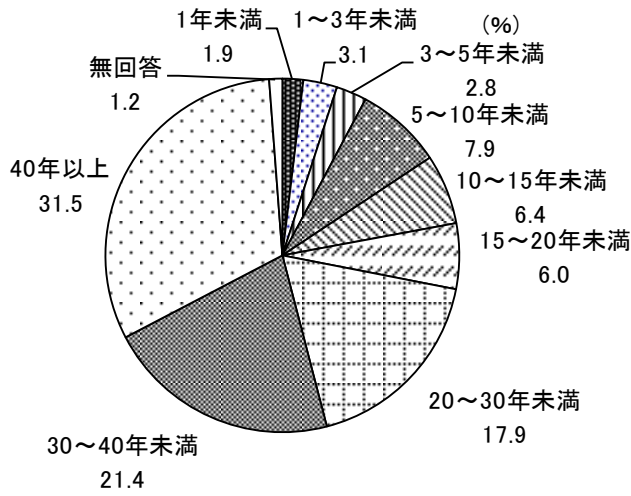
### ◆職業 (n=2,368)



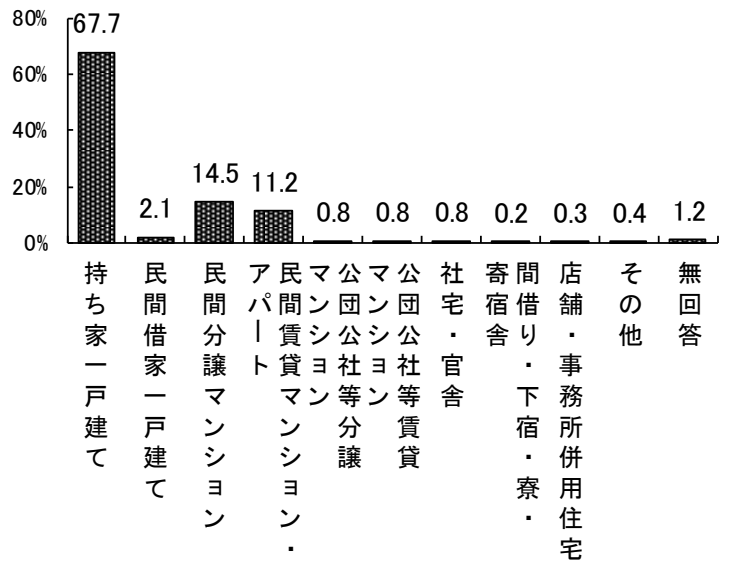
### ◆世帯の状況 (n=2,368)



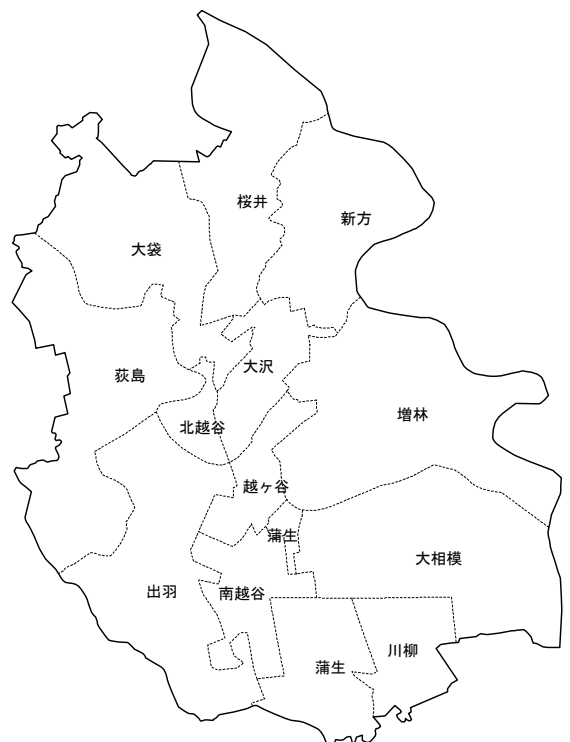
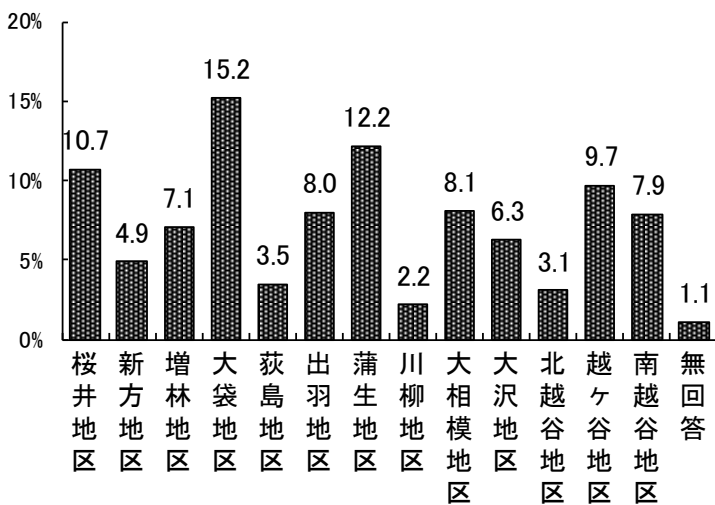
◆居住年数 (n=2,368)



◆居住形態 (n=2,368)



◆居住地区 (n=2,368)



### Ⅲ. 調査結果

#### 1. 暮らしや居留意向について

- 現在の暮らし向きについて『満足』（「十分満足している」+「十分とはいえないが、一応満足している」）が5割半ば。
- 『定住意向』（「ずっと住み続けたい」+「どちらかといえば住み続けたい」）は7割半ば。
- 『転居意向』（「どちらかといえば引っ越したい」+「引っ越したい」）の主な理由は、「交通の便が悪いので」が1割半ばで最も多い。

図 1-1 現在の暮らし向き (n=2,368)

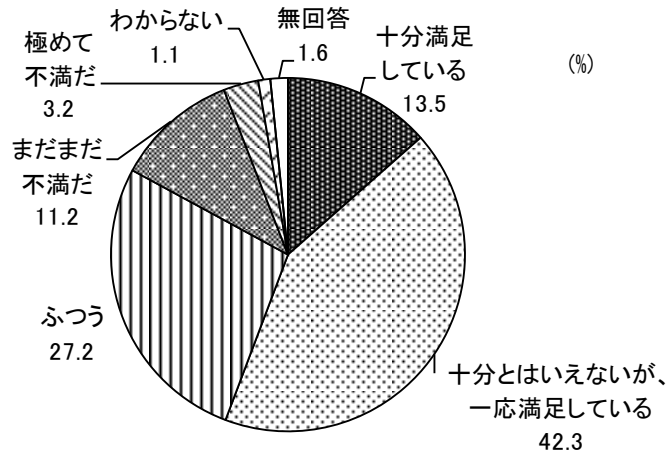


図 1-2 居留意向 (n=2,368)

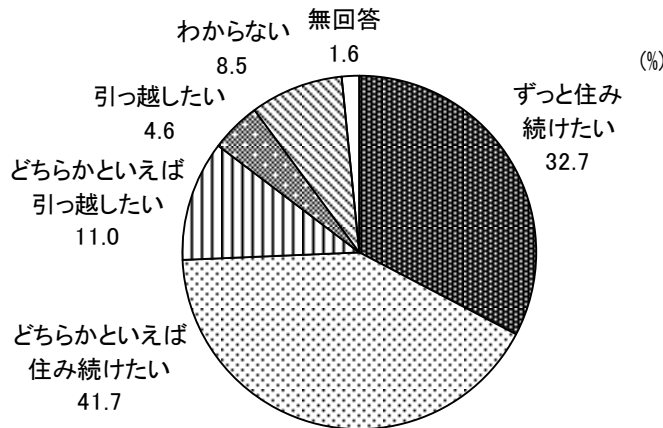
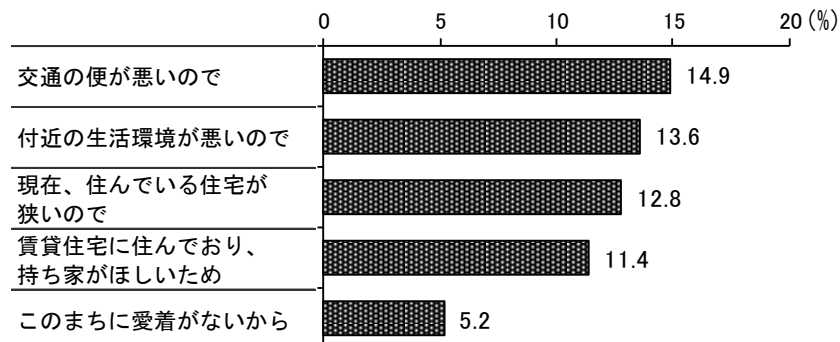


図 1-3 転居意向の理由 (上位 5 位) (n=368)



## 2. 人権全般に関する意識について

- 今の日本社会における基本的人権の意識は『尊重されている』（「十分尊重されている」＋「やや尊重されている」）が6割半ば。
- 10年前と比べた人権意識の変化は『高くなっている』（「非常に高くなっている」＋「やや高くなっている」）が4割強。
- 関心のある人権問題は「高齢者の人権問題」が約4割で最も多い。
- 日常生活の中で人権が侵害されたと感じたことがあるかは「ある」が約2割。
- 人権侵害を感じた内容は「職場において、不当な待遇や上司の言動を受けた」が5割弱で最も多い。

図 2-1 基本的人権の意識 (n=2,368)

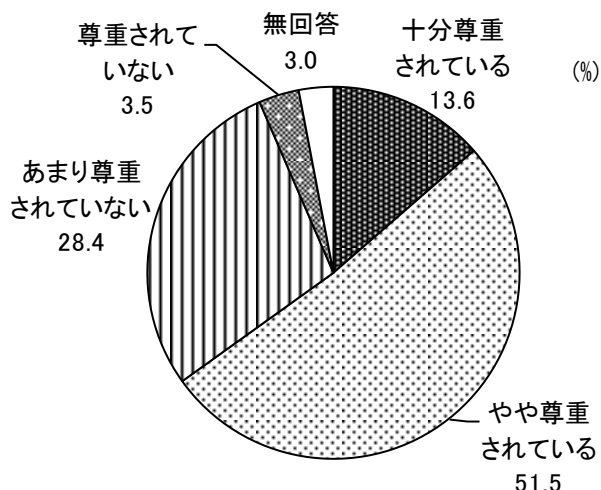


図 2-2 人権意識の変化 (n=2,368)

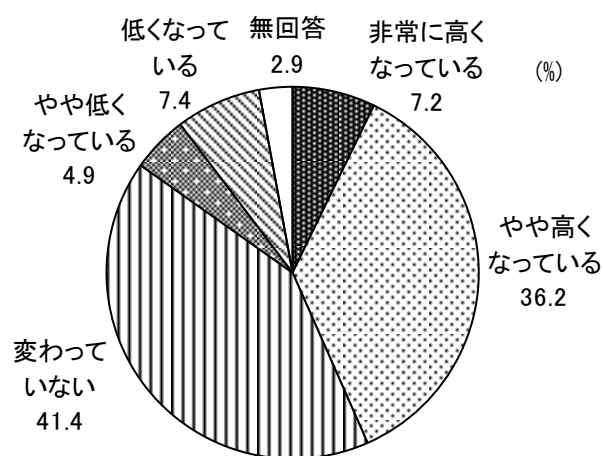


図 2-3 関心のある人権問題 (上位 5 位) (n=2,368)

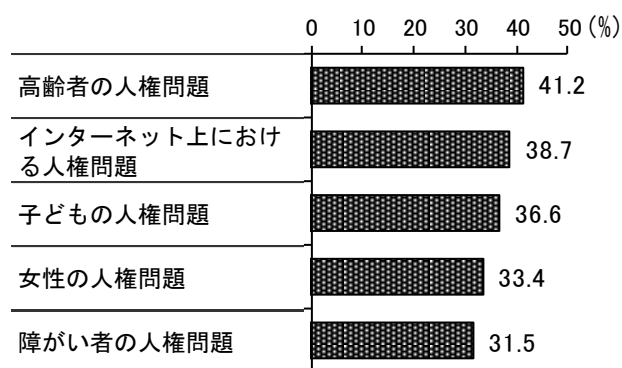


図 2-4 人権侵害を感じたこと (n=2,368)

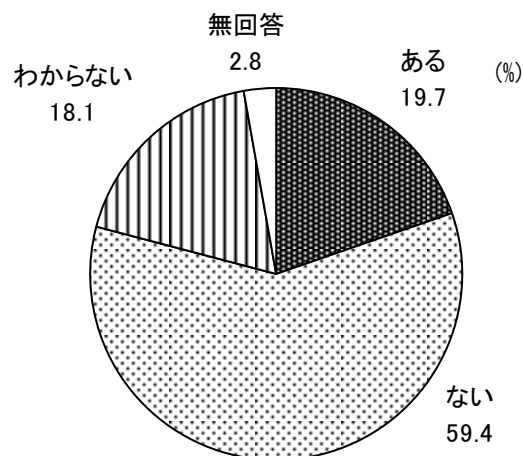
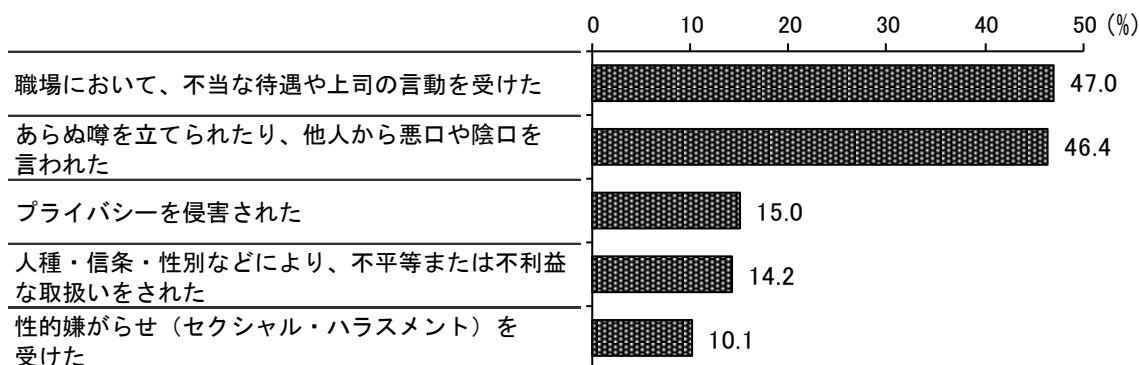


図 2-5 人権侵害を感じた内容 (上位 5 位) (n=466)



### 3. 市内の公共交通について

- 公共交通の利用有無について、鉄道は「常に利用」が3割弱、バスは「たまに利用」が3割半ば、タクシーは「たまに利用」が4割強。
- 公共交通の満足度で、『満足』（「とても満足している」+「やや満足している」）は鉄道が8割強、バスが5割半ば、タクシーが6割弱。

図 3-1 公共交通の利用有無 (n=2,368)

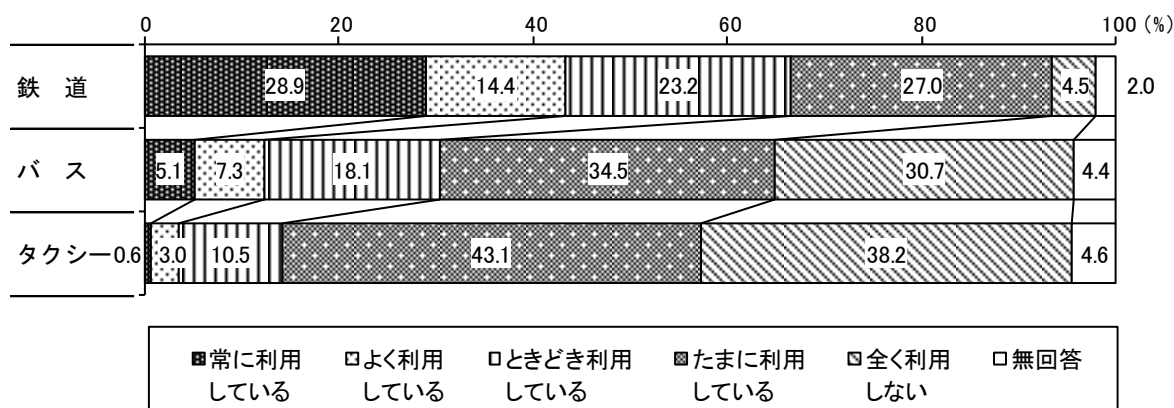
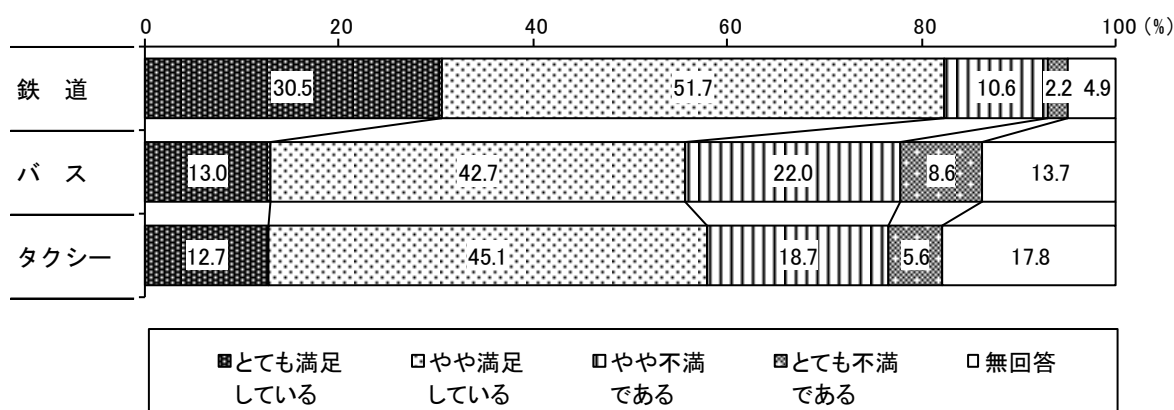


図 3-2 公共交通の満足度 (n=2,368)



#### 4. 景観（風景）について

- 住まいの地区の景観（風景）の満足度は『満足』（「満足している」+「十分とはいえないが、概ね満足している」）が7割弱。
- 良い景観（風景）のまちをつくるために行政に望むものは「良好な景観づくりに役立つ公共事業」が5割弱で最も多い。

図 4-1 景観（風景）の満足度 (n=2,368)

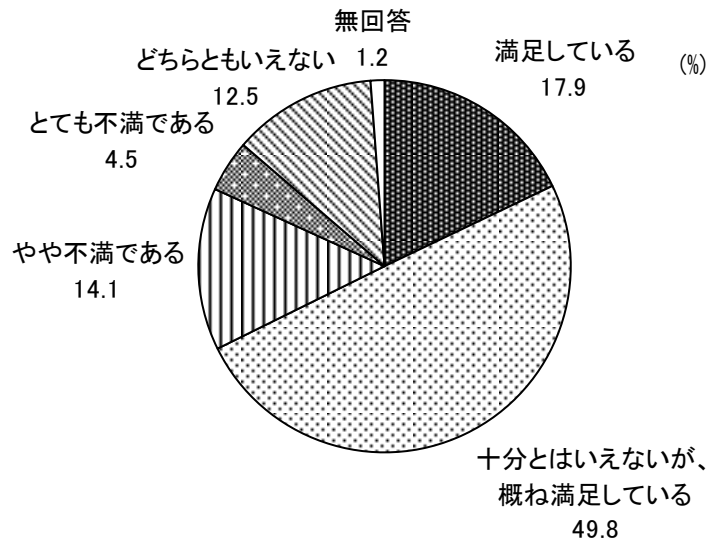
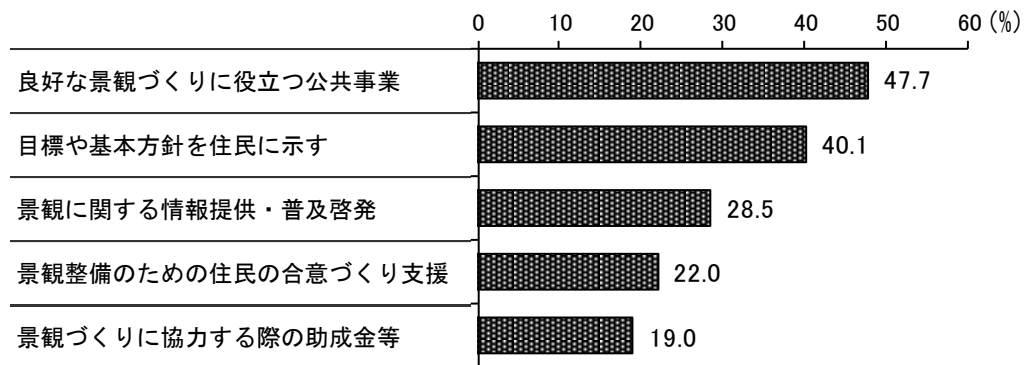


図 4-2 行政に望むこと（上位5位） (n=2,368)



## 5. 越谷市への愛着度と魅力発信について

- 越谷市への愛着は『愛着がある』（「とても愛着がある」+「愛着がある」+「やや愛着がある」）が8割弱。
- 愛着がある理由は「交通の利便性がよく、都内等に近い」が約7割で最も多い。
- 越谷市の誇れるものは「イオンレイクタウン」が約6割で最も多い。
- 観光やレジャーで知りたい情報は「イベントや催しなどの催事情報」が4割半ばで最も多い。
- 観光情報を得る方法は「ホームページ」が約4割で最も多い。

図 5-1 越谷市への愛着 (n=2,368)

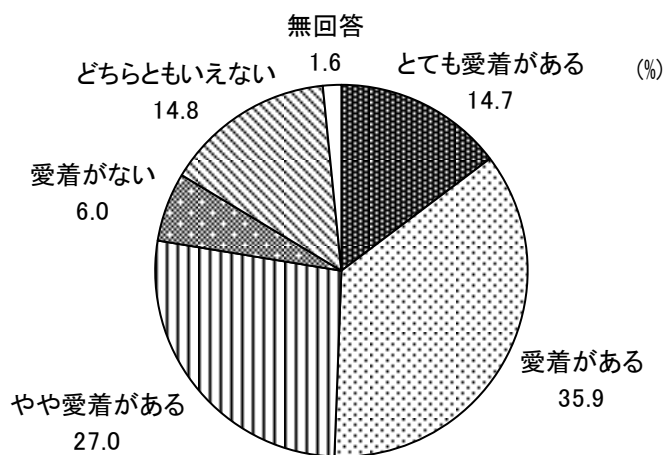


図 5-2 愛着がある理由 (上位 5 位) (n=1,837)

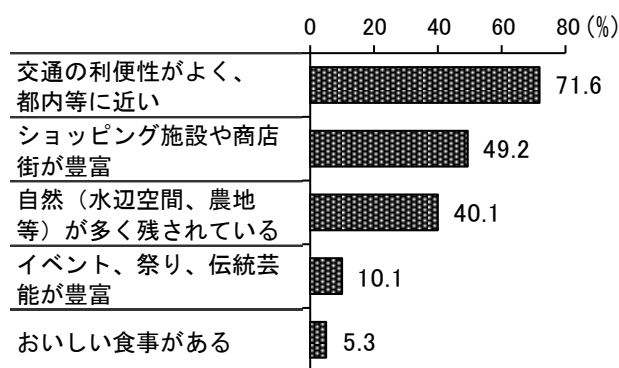


図 5-3 越谷市の誇れるもの (上位 5 位) (n=2,368)

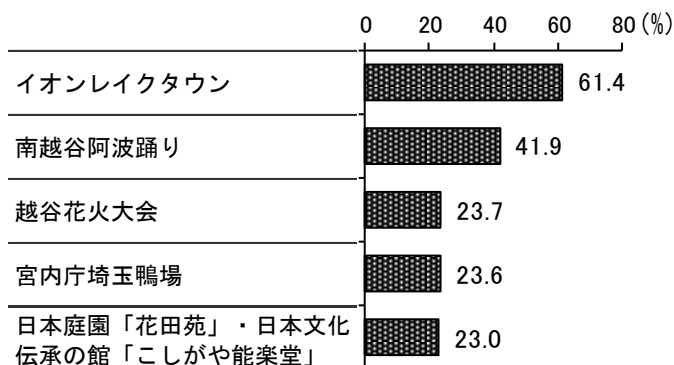


図 5-4 観光やレジャーで知りたい情報 (上位 5 位) (n=2,368)

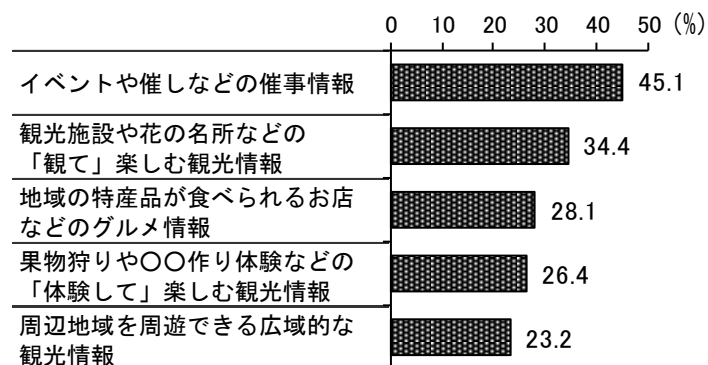
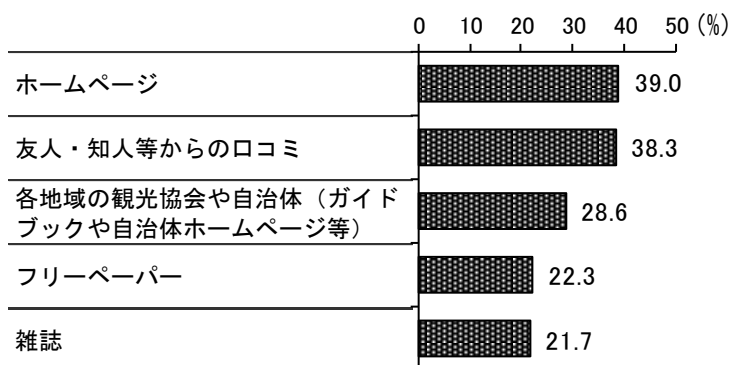


図 5-5 観光情報を得る方法 (上位 5 位) (n=2,368)





## 6. 男女共同参画について

- 「教育・しつけ」で大切だと思うことは、男の子では「やさしさや思いやりをもたせる」が約6割で最も多く、女の子でも「やさしさや思いやりをもたせる」が7割半ばで最も多い。
- 男性が育児休業・介護休暇・子の看護休暇を活用することは「男性も育児休業・介護休暇・子の看護休暇を取ることは賛成だが、現実的には取りづらいと思う」が6割強で最も多い。
- 育児・介護のための長期休暇で男性の取得が少ない理由は「職場や周囲に休みにくい雰囲気があるから」が5割強で最も多い。
- 男女がともに仕事と家庭を両立するために必要な条件は「育児・介護休業制度を利用できる職場環境を整備すること」が約6割で最も多い。
- 日常生活のなかでの優先度について、希望は「『仕事』と『家庭生活』をともに優先」が3割強で最も多く、現実には「『仕事』を優先」が約4割で最も多い。

図6-1 「教育・しつけ」で大切だと思うこと（上位5位）（n=2,368）

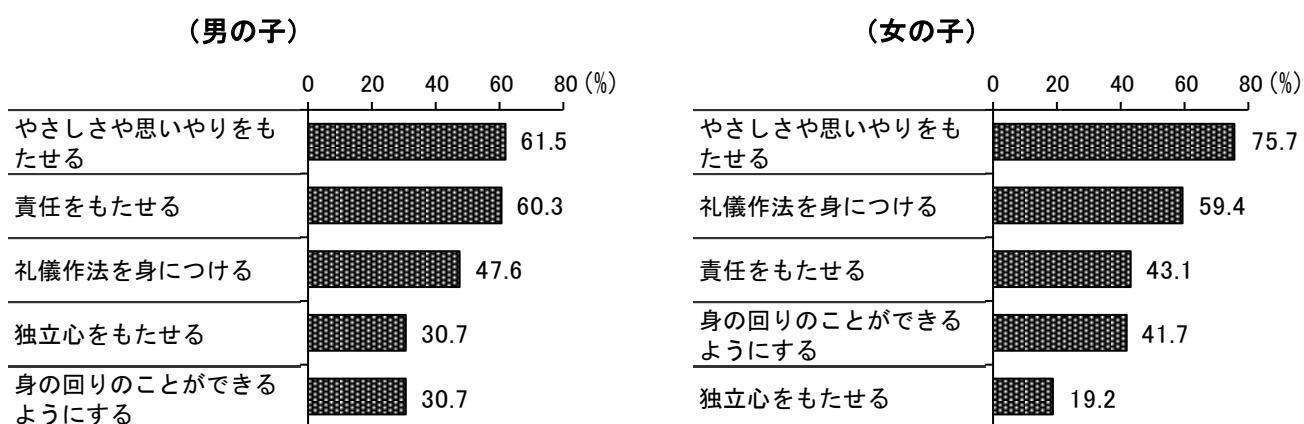


図6-2 男性が育児休業・介護休暇・子の看護休暇を活用すること（n=2,368）

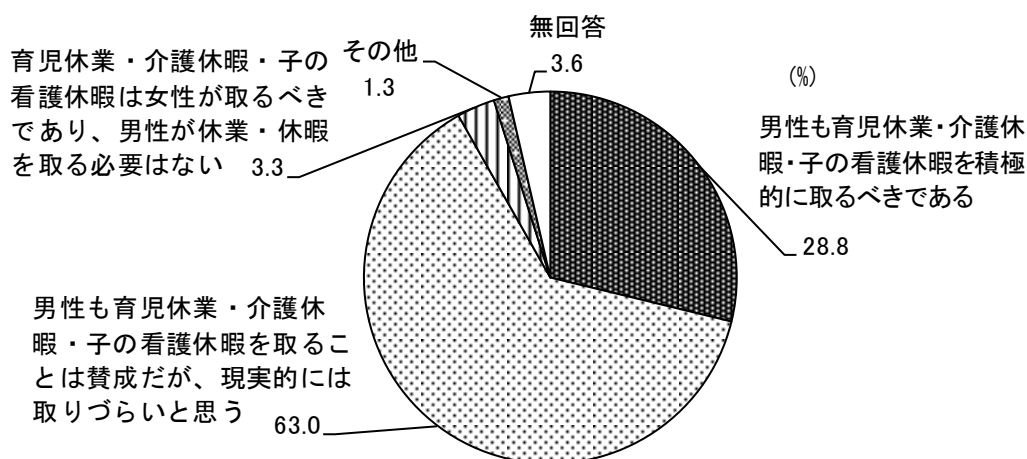


図 6-3 育児・介護のための長期休暇で男性の取得が少ない理由 (n=2, 368)

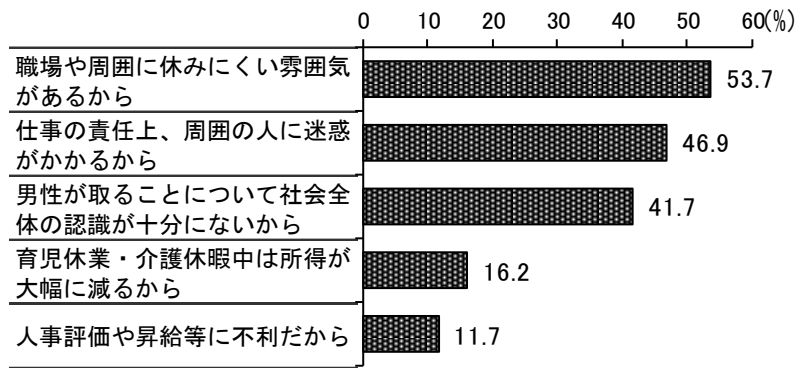


図 6-4 男女がともに仕事と家庭を両立するために必要な条件 (上位 5 位) (n=2, 368)

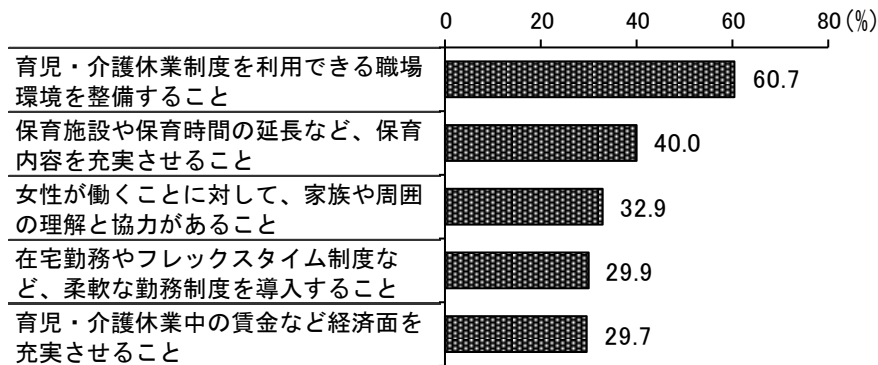
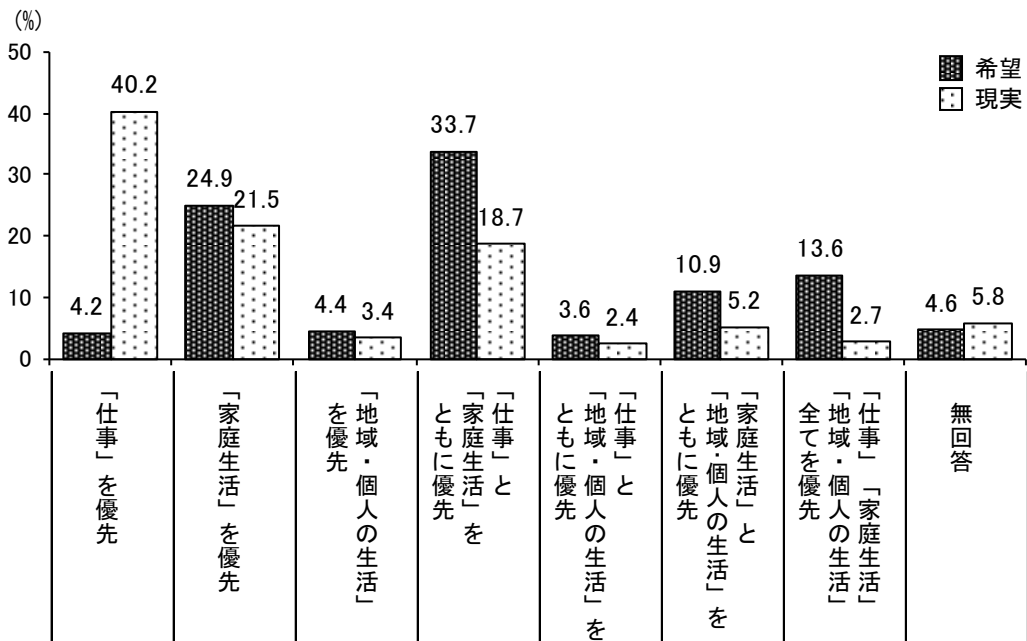


図 6-5 日常生活のなかでの優先度 (希望・現実) (n=2, 368)



## 7. 地域医療体制について

- 地域医療体制の認知度は「越谷市夜間急患診療所」が7割半ば、「休日当番医制度」が7割強、「埼玉県救急電話相談（#7119）」が4割強。
- 医療機関の情報の入手方法は「インターネットで調べる（越谷市・埼玉県公式ホームページを除く）」と「広報こしがや『お知らせ版』や『季刊版』」が4割強が多い。
- 夜間や休日の急病の対応は「可能な限り翌日まで我慢する」が5割半ばで最も多い。

図 7-1 地域医療体制の認知度 (n=2,368)

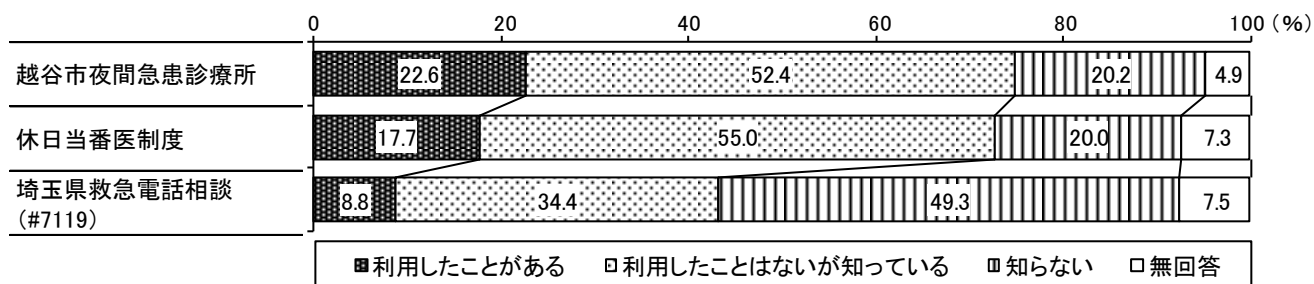


図 7-2 医療機関の情報の入手方法 (上位 5 位) (n=2,368)

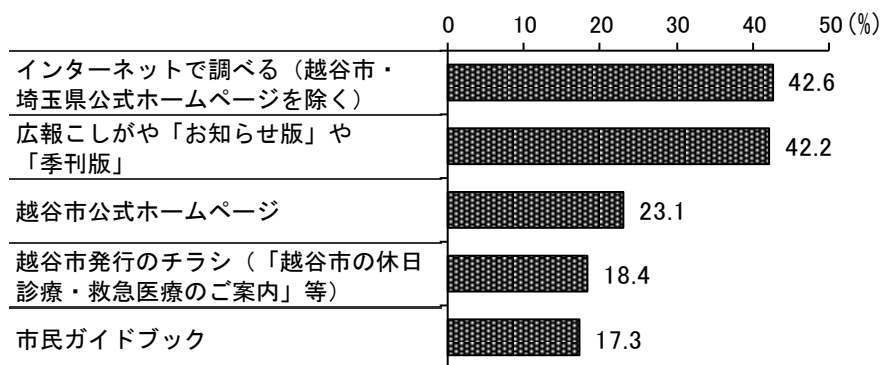
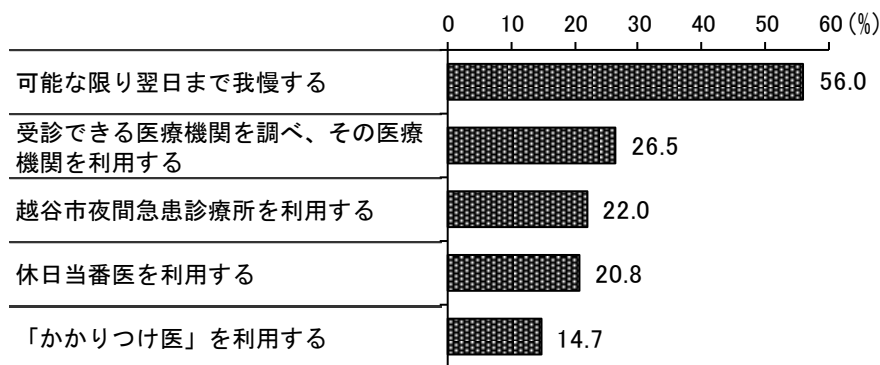


図 7-3 夜間や休日の急病の対応 (上位 5 位) (n=2,368)



## 8. 空き家について

- 空き家問題の認知度は『知っている』（「身近な問題であり、知っている」＋「身近な問題ではないが、知っている」）が9割半ば。
- 住んでいる建物（もしくは所有している建物）が空き家になる不安は「全く不安はない」が4割強、『不安がある』（「不安がある」＋「少し不安がある」）が2割半ば。
- 『不安がある』の主な理由は「将来、住む予定の者がいないため」が5割半ばで最も多い。
- 必要だと思う空き家対策は「管理不全な空き家の所有者等への指導等の実施」が約4割で最も多い。

図 8-1 空き家問題の認知度 (n=2,368)

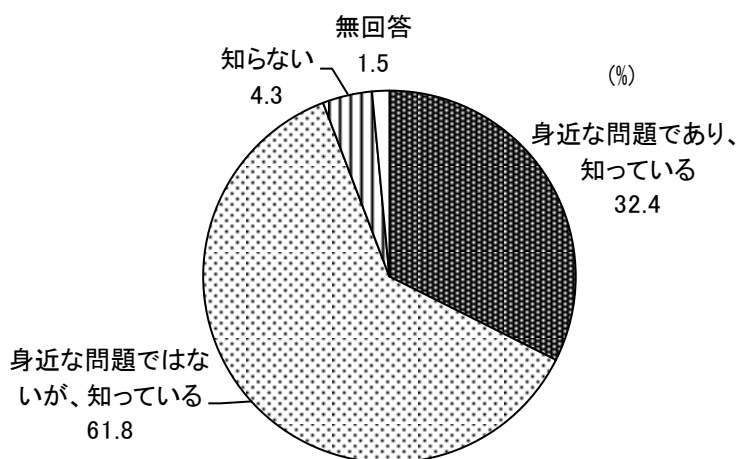


図 8-2 空き家になる不安 (n=2,368)

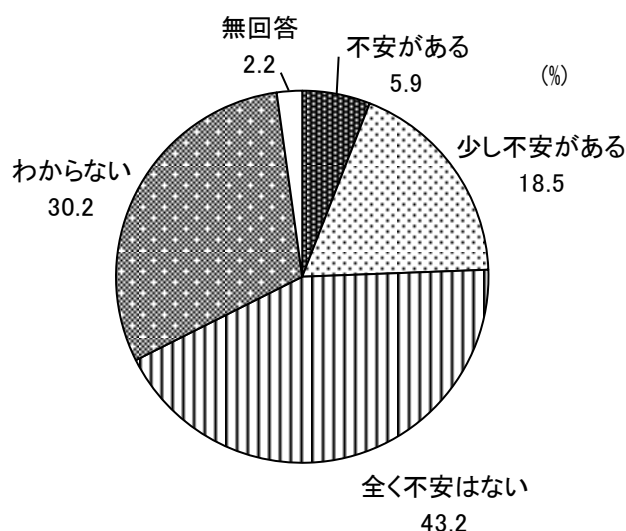


図 8-3 空き家になる不安の理由 (上位 5 位)  
(n=579)

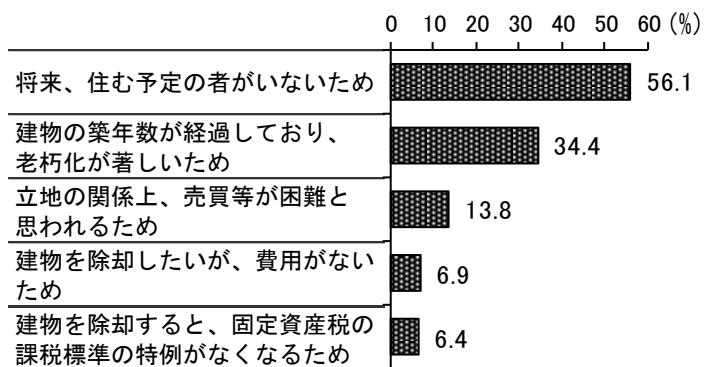
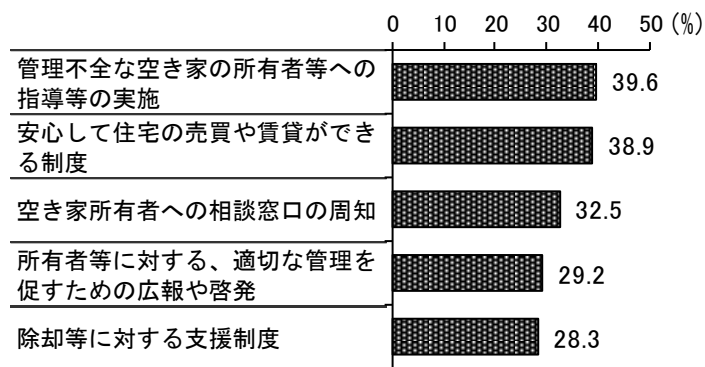


図 8-4 必要だと思う空き家対策 (上位 5 位)  
(n=2,368)



## 9. 自治基本条例について

- 「越谷市自治基本条例」の認知度は『知っている』（「よく知っている」+「まあまあ知っている」）が1割弱。
- 「越谷市自治基本条例」を知ったきっかけは「広報こしがや」が約8割で最も多い。
- 組織と市が協働することは『必要だと思う』（「必要だと思う」+「ある程度必要だと思う」）が7割弱。
- 組織と市の協働が必要な分野は「暮らしの安全・安心に関すること（防災、防犯、消防、消費生活など）」が約8割で最も多い。
- 協働推進に必要な施策は「市政に関する情報を分かりやすく公開すること」が6割弱で最も多い。

図 9-1 「越谷市自治基本条例」の認知度  
(n=2,368)

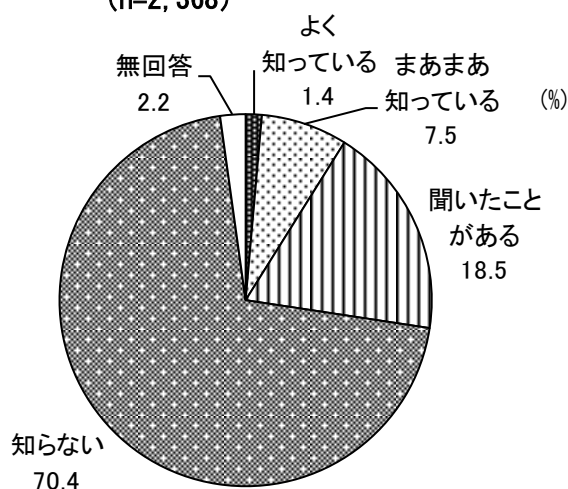


図 9-2 「越谷市自治基本条例」を知ったきっかけ  
(上位 5 位) (n=648)

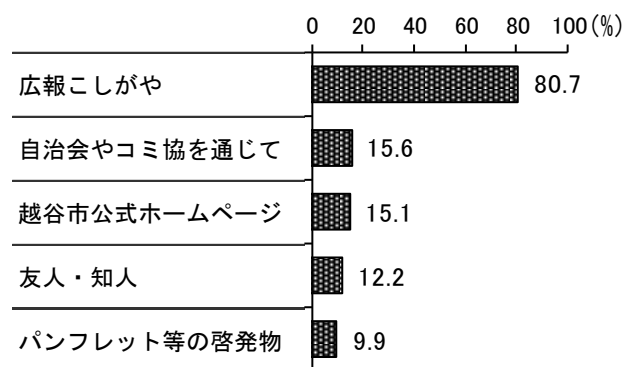


図 9-3 組織と市が協働すること  
(n=2,368)

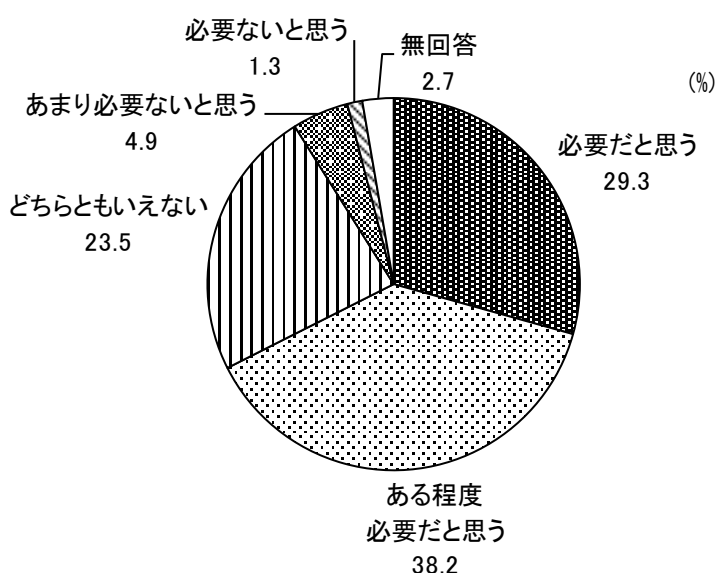


図 9-4 組織と市の協働が必要な分野  
(上位 5 位) (n=1,600)

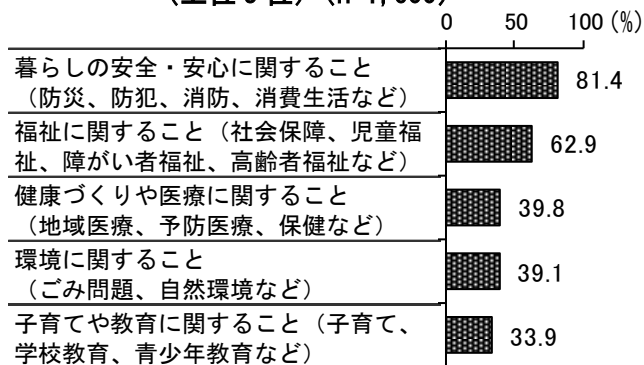
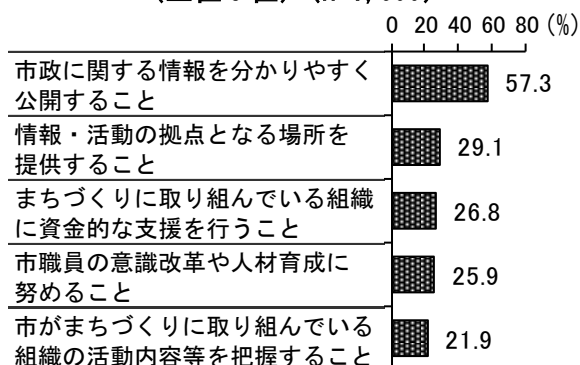


図 9-5 協働推進に必要な施策  
(上位 5 位) (n=1,600)



## 10. 平和事業について

- 越谷市の平和都市宣言の認知度は「知っている」が4割弱。
- 越谷市主催「平和フォーラム」の認知度は『知っている』（「参加したことがある」＋「知っているが、参加したことはない」）が3割弱。
- 平和への意識を高めるために効果的な事業は「戦争体験のおはなし会や座談会の開催」が4割強で最も多い。

図 10-1 越谷市の平和都市宣言の認知度 (n=2,368)

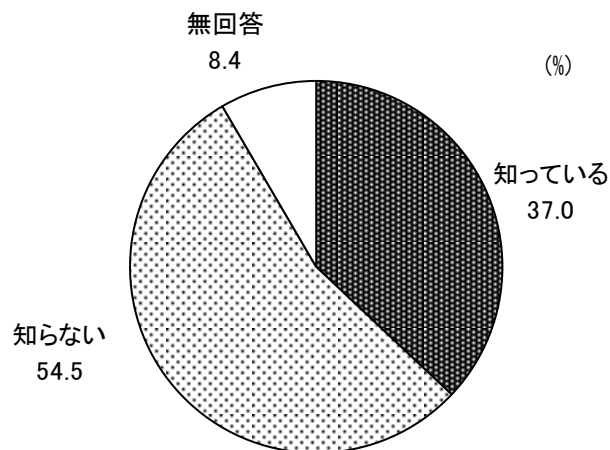


図 10-2 越谷市主催「平和フォーラム」の認知度 (n=2,368)

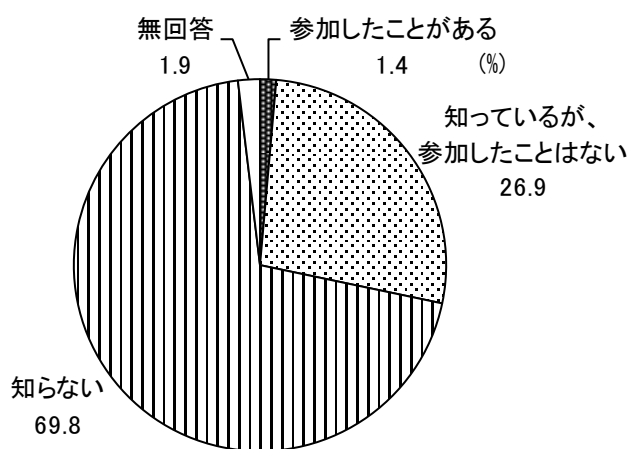
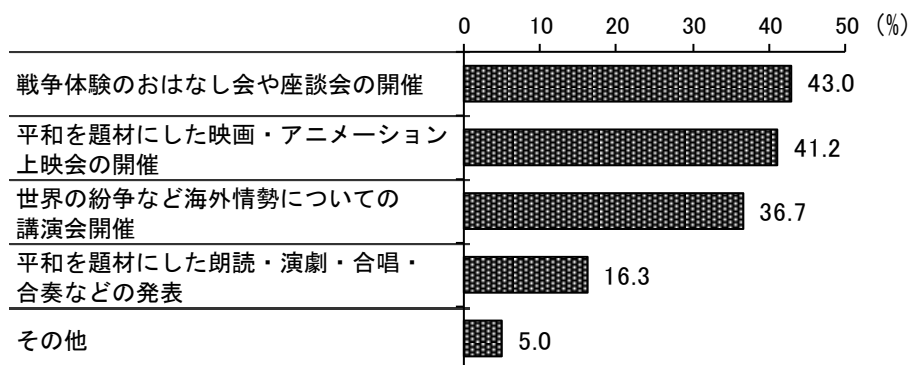


図 10-3 平和への意識を高めるために効果的な事業 (n=2,368)



## 11. スポーツ・レクリエーションの実施状況について

- この1年間のスポーツ・レクリエーション活動の実施状況は『週1回以上』が約4割。
- 活動を行った主な理由は「運動不足解消」が6割半ばで最も多い。
- 活動の効果は「運動不足が解消した」が4割半ばで最も多い。
- 活動を行っていない理由は「仕事（家事、育児も含む）や勉強が忙しいから」が約4割で最も多い。
- 今後、行ってみたい活動内容は比較的軽いスポーツが「ウォーキング」、野外活動が「ハイキング」、競技的スポーツが「卓球」で最も多い。

図 11-1 スポーツ・レクリエーション活動の実施状況 (n=2,368)

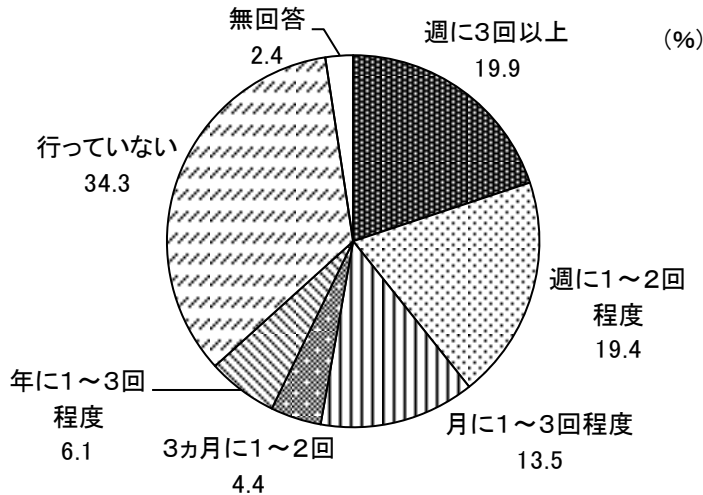


図 11-2 スポーツ・レクリエーション活動を行った主な理由 (上位5位) (n=1,499)

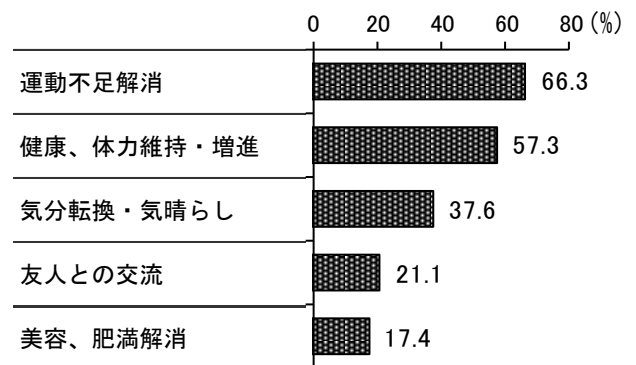


図 11-3 スポーツ・レクリエーション活動の効果 (上位5位) (n=932)

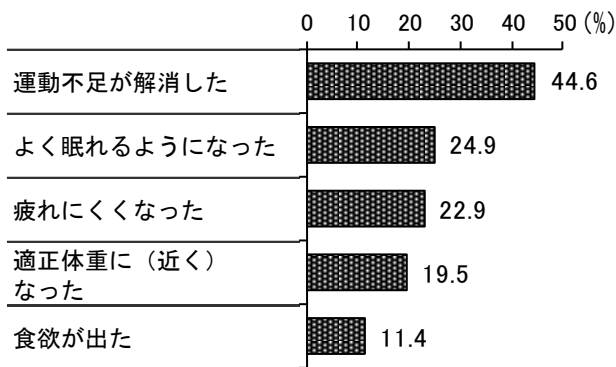


図 11-4 スポーツ・レクリエーション活動を行っていない理由 (上位5位) (n=813)

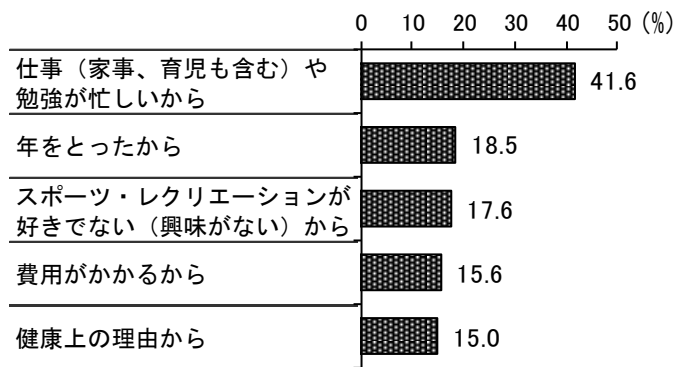
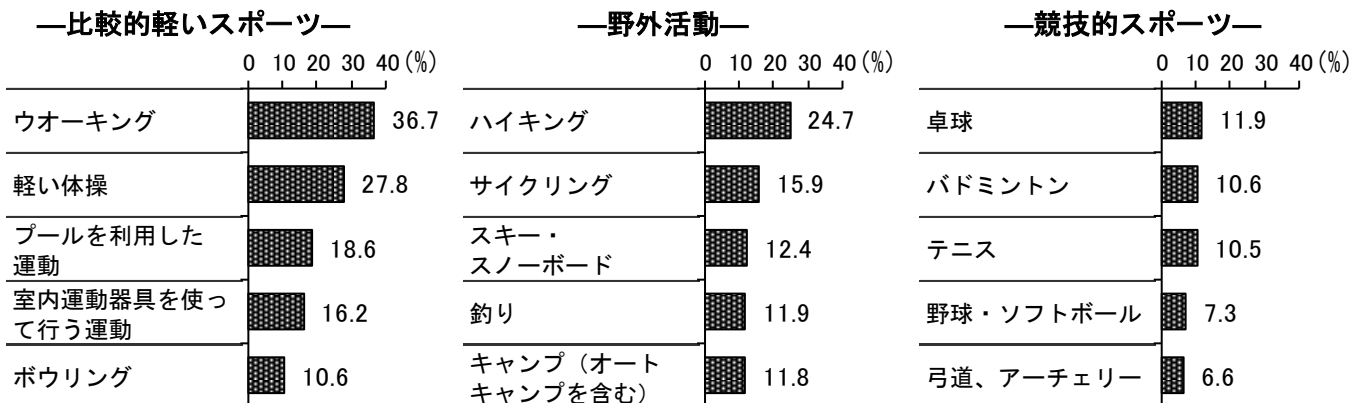


図 11-5 今後、行ってみたいスポーツ・レクリエーション活動 (上位5位) (n=2,368)



## 12. 保健事業について

- 越谷市契約保養所の宿泊助成を受けたことの有無は「ある」が1割弱。
- 加入健康保険等で助成を受けたことの有無は「ある」が2割半ば。
- 契約保養所の宿泊助成を利用しない理由は「助成があることを知らなかった」が5割弱で最も多い。
- 今後の契約保養所の宿泊助成は「現行どおり実施するべき」が4割弱で最も多い。

図 12-1 越谷市契約保養所の宿泊助成を受けたことの有無 (n=2,368)

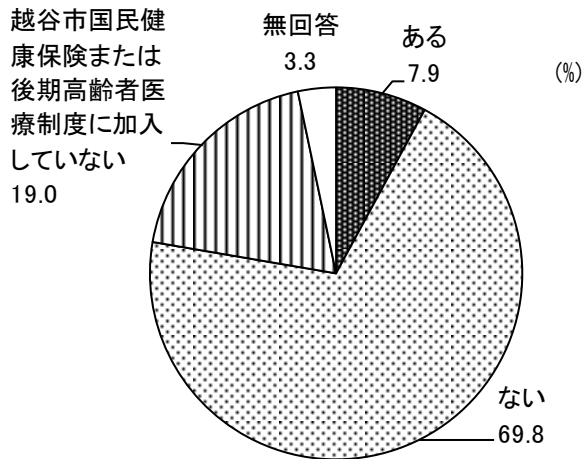


図 12-2 加入健康保険等で助成を受けたことの有無 (n=449)

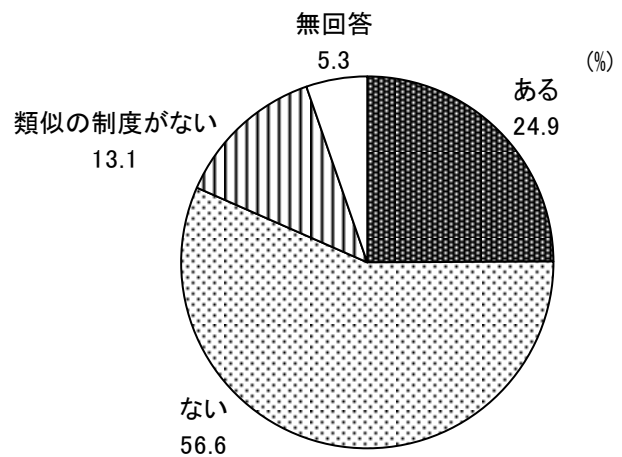


図 12-3 契約保養所の宿泊助成を利用しない理由 (n=1,925)

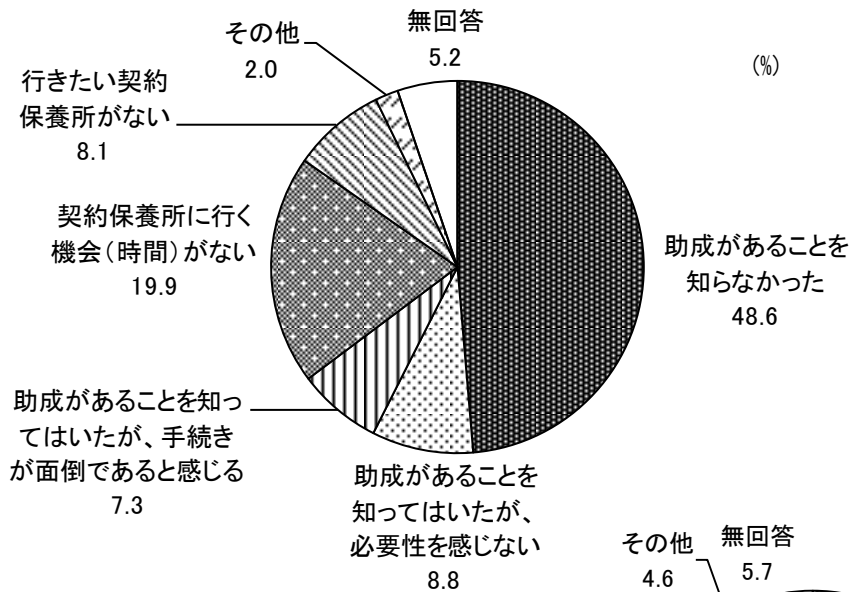
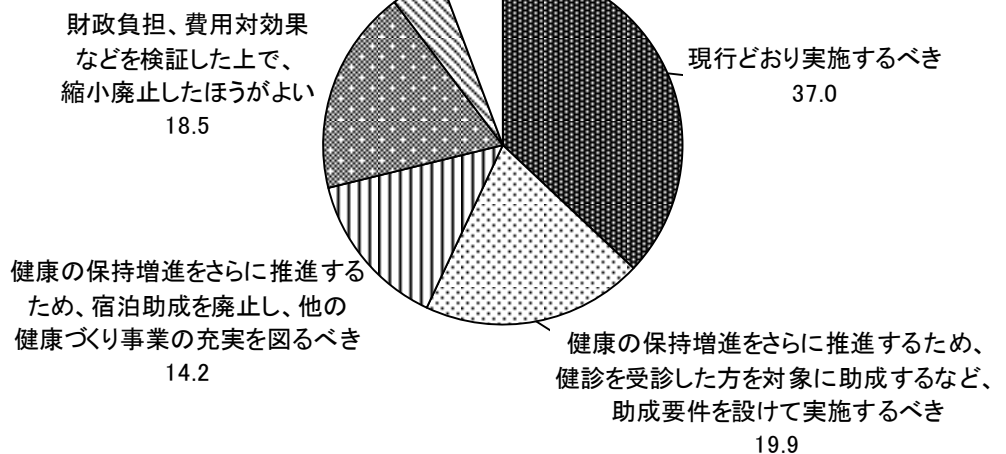


図 12-4 今後の契約保養所の宿泊助成 (n=2,368)





### 13. 自殺防止について

- 今までに死にたいと思ったことがあるかは「はい（ある）」が2割半ば。
- 死にたいと思った理由は「家庭問題」が約4割で最も多い。
- 「死にたい」と思うくらい悩んだとき、だれに相談するかは「誰にも相談しないと思う」が3割半ば。
- 市の自殺防止対策の相談窓口の認知度は「はい（知っている）」が2割弱。
- 自殺防止に最も効果的な対策は「健康や病気に関する相談」が2割強で最も多い。

図 13-1 死にたいと思ったこと (n=2,368)

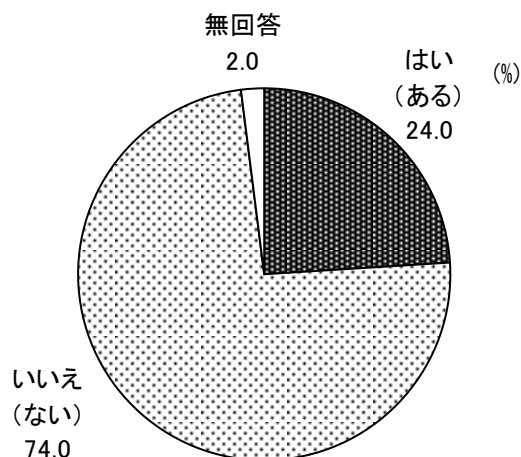


図 13-2 死にたいと思った理由 (上位5位) (n=568)

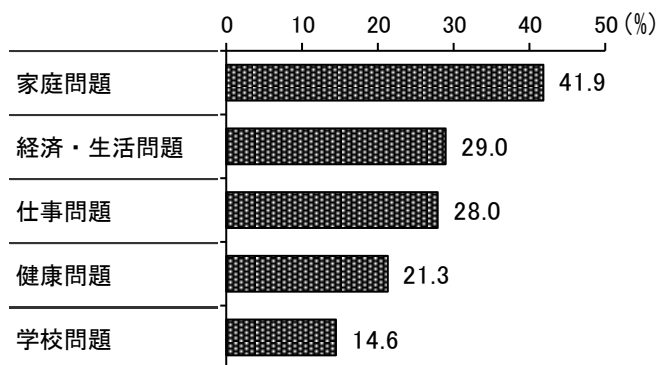


図 13-3 相談する人 (上位4位+誰にも相談しないと思う) (n=2,368)

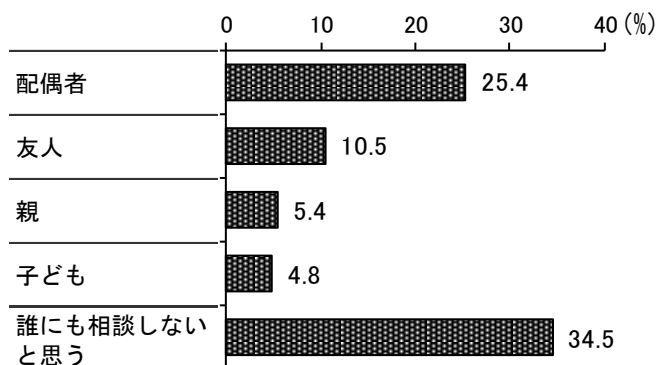


図 13-4 自殺防止対策の相談窓口の認知度 (n=2,368)

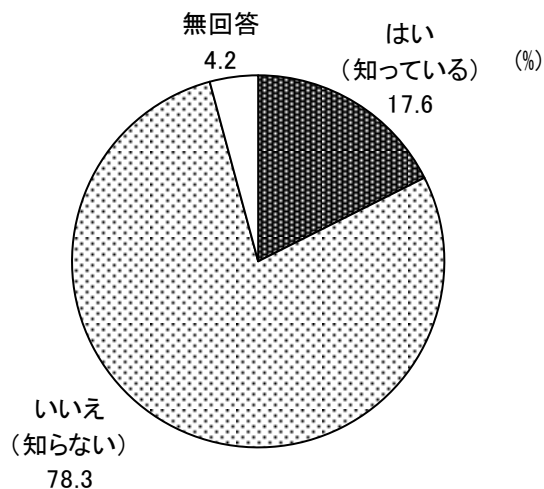
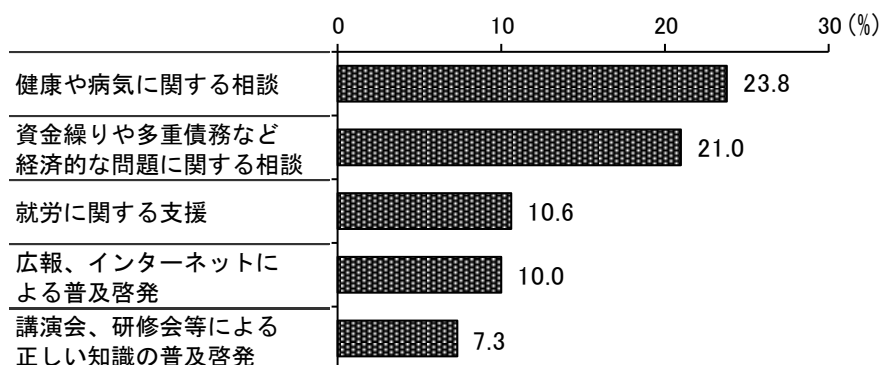


図 13-5 効果的な自殺防止対策 (上位5位) (n=2,368)



#### 14. 越谷市の伝統的手工芸品について

- 越谷市の伝統的手工芸品の認知度について、『知っている』（「買ったことがある」＋「知っているが買ったことはない」）は「越谷だるま」が7割半ばで最も多い。
- 「買ったことがある」は「越谷手焼きせんべい」が約4割で最も多い。
- 越谷市伝統的手工芸品に期待する取組みは「技術の継承（後継者の育成）」「見学・体験などの受入れ」「各種イベントへの参加」がともに3割半ば。

図 14-1 越谷市の伝統的手工芸品の認知度（n=2,368）

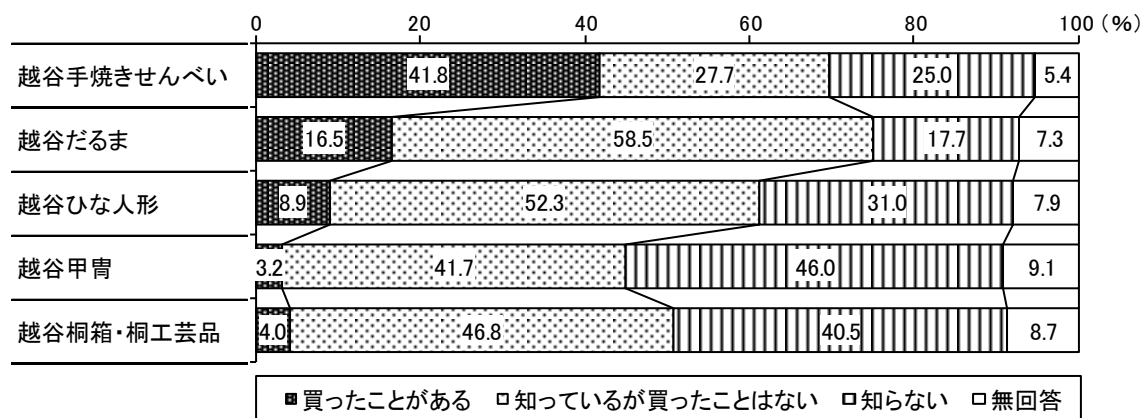
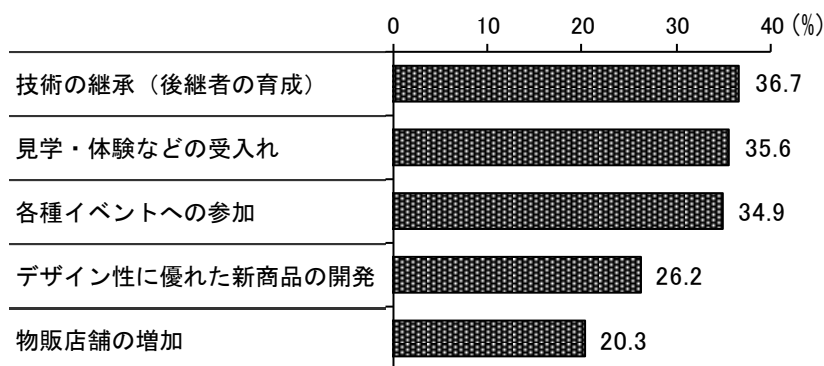


図 14-2 越谷市の伝統的手工芸品に期待する取組み（上位 5 位）（n=2,368）



## 15. 地場農産物や地産地消について

- 越谷の農業特産物の認知度は「くわい」「ねぎ」「いちご」が7割弱。
- 越谷市の農業特産物の購入経験は「ねぎ」が6割半ばで最も多い。
- 購入場所は「太郎兵衛もち」「チューリップ」は「市民まつりなどイベント」が、「くわい」「山東菜」「いちご」は「農産物直売所」が、「ねぎ」「小松菜」は「市内スーパーマーケット」がそれぞれ最も多い。

図 15-1 越谷の農業特産物の認知（上位 5 位）（n=2,368）

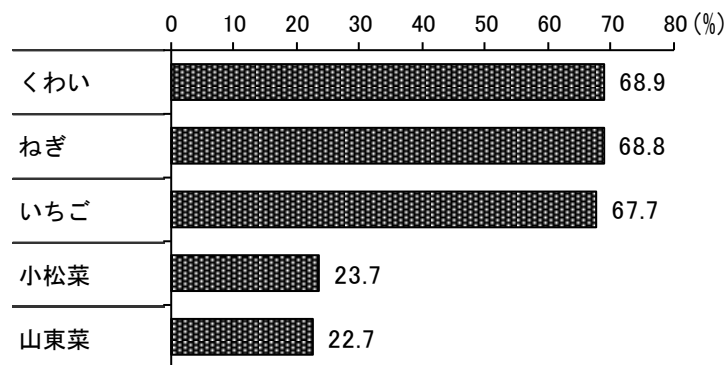
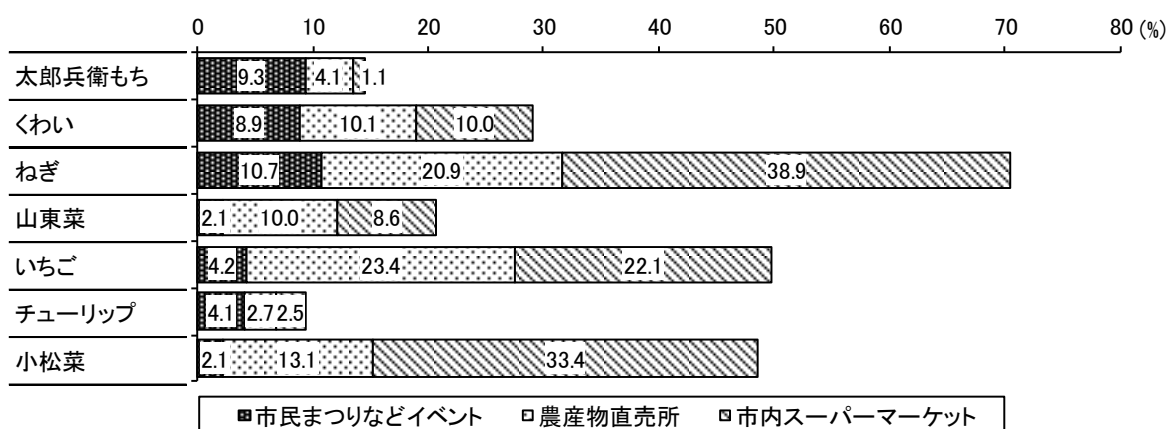
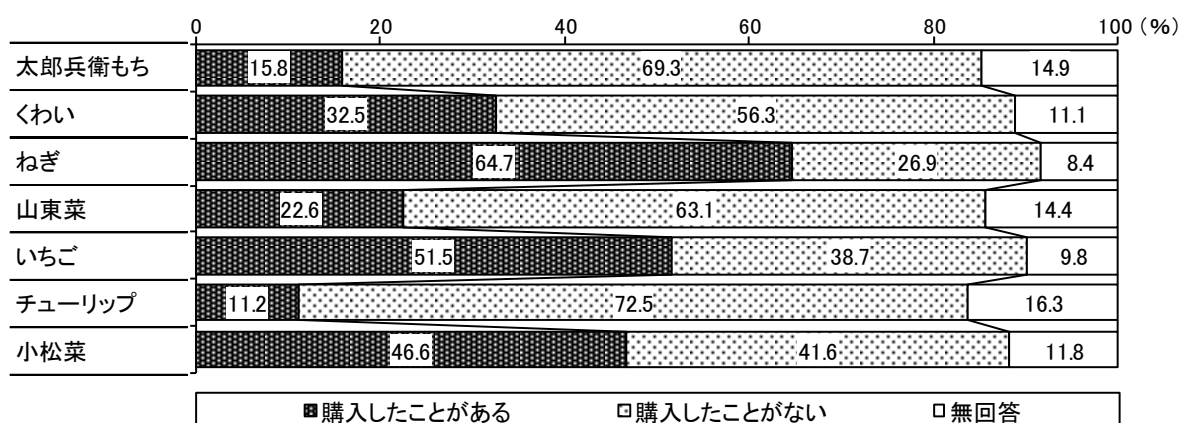


図 15-2 越谷の農業特産物の購入経験・購入場所（n=2,368）



16. 自転車を活用したまちのにぎわい作りについて

○自転車の利用状況は「ほぼ毎日」が3割強、「利用しない」が約3割。  
 ○まちのにぎわいに繋がると思うサイクリング事業は「サイクリストを受け入れるための道路や休憩所の整備」が5割強で最も多い。

図 16-1 自転車の利用状況 (n=2,368)

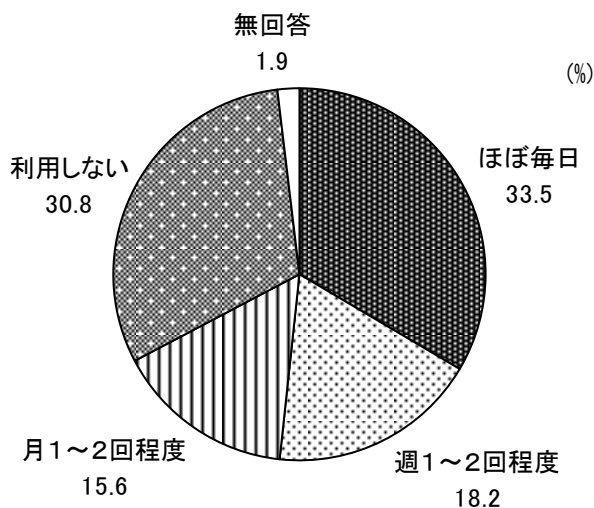
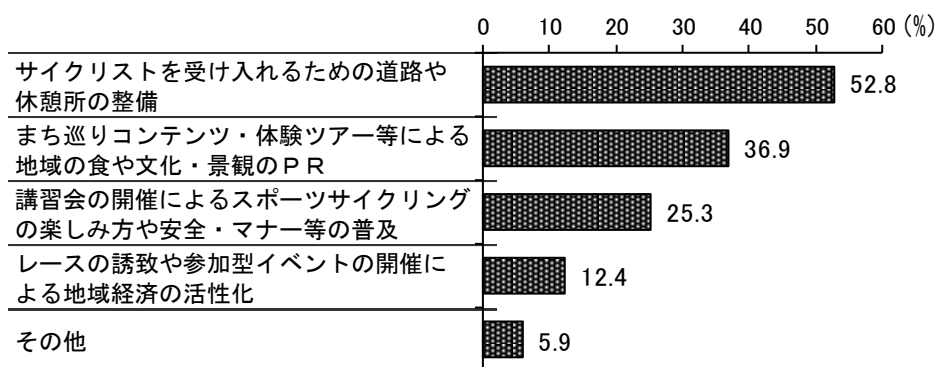


図 16-2 まちのにぎわいに繋がると思うサイクリング事業 (n=2,368)



## 17. 越谷市公式ホームページについて

- 越谷市公式ホームページで探した情報は「市役所の窓口、業務」が4割強で最も多い。
- 越谷市公式ホームページで今後充実してほしい情報は「救急、医療」が2割弱で最も多い。
- 「越谷ってこんなところ！」の閲覧の有無は「閲覧したことがある」が2.5%。
- 「越谷ってこんなところ！」の閲覧の印象はデザインが「良い」が6割、掲載内容に「十分な内容がある」が約4割、市外へ向けてのPR効果は「効果がある」が4割弱。

図 17-1 越谷市公式ホームページで探した情報 (n=2,368)



図 17-2 今後充実してほしい情報  
(上位 5 位) (n=2, 368)

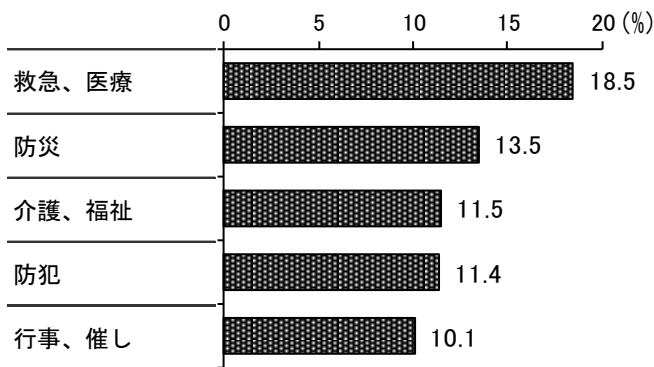


図 17-3 「越谷ってこんなところ！」の  
閲覧の有無 (n=2, 368)

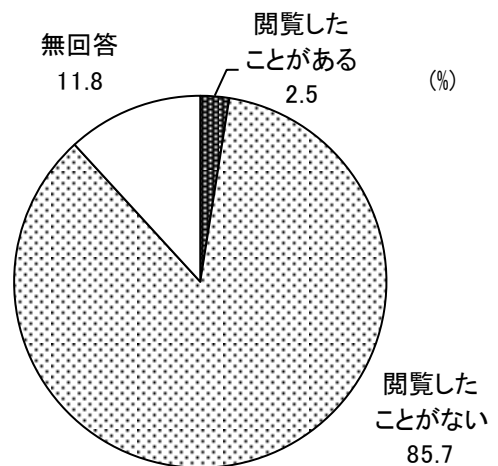
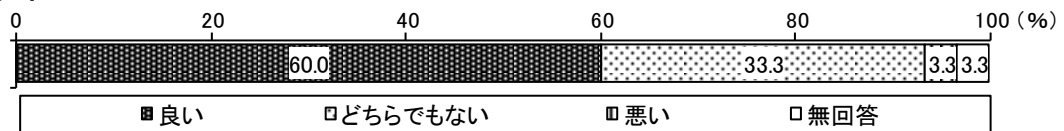
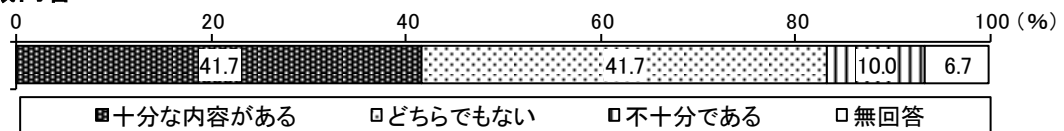


図 17-4 閲覧の印象 (n=60)

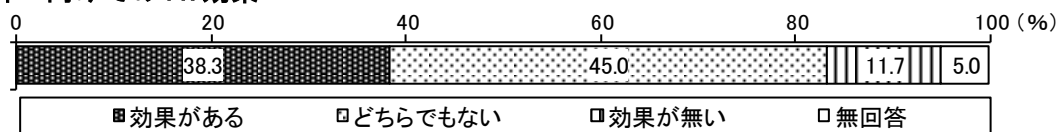
デザイン



掲載内容



市外へ向けての PR 効果



## 18. 広報について

- 市政情報を主に得ているものは「広報こしがや『お知らせ版』や『季刊版』」が6割半ばで最も多い。
- 市政情報を得るために活用したことがあるものは「広報こしがや『お知らせ版』や『季刊版』」が約8割で最も多い。
- 広報こしがやの感想は『分かりやすい』（「分かりやすい」+「おおむね分かりやすい」）が「お知らせ版」で7割半ば、「季刊版」で7割強。
- 広報こしがやで分かりにくい点は「お知らせ版」は「見づらい、読みづらい」が多く、「季刊版」は「知りたい情報が見つけづらい」「文章が丁寧すぎる」など。

図 18-1 市政情報を得ているもの  
(上位 5 位) (n=2,368)

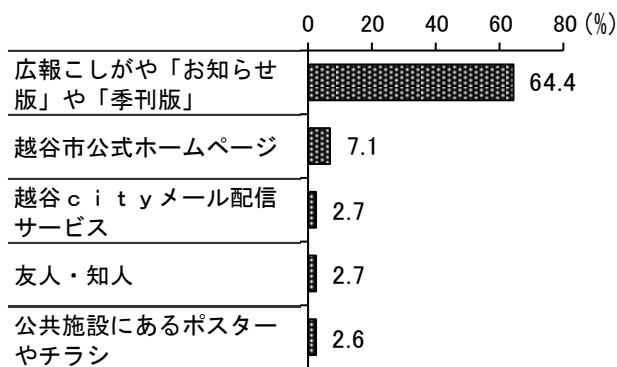


図 18-2 市政情報を得るために活用したことがあるもの  
(上位 5 位) (n=2,368)

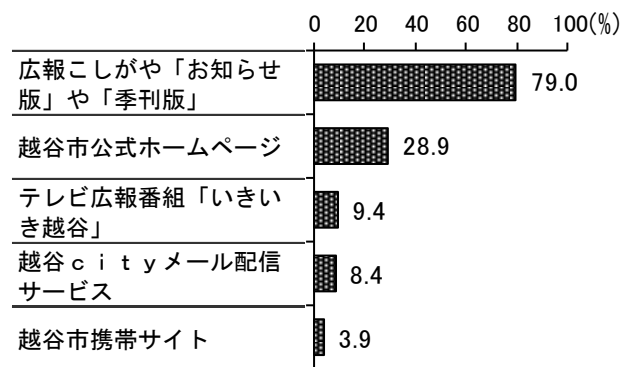


図 18-3 広報こしがや「お知らせ版」「季刊版」の感想 (n=1,524)

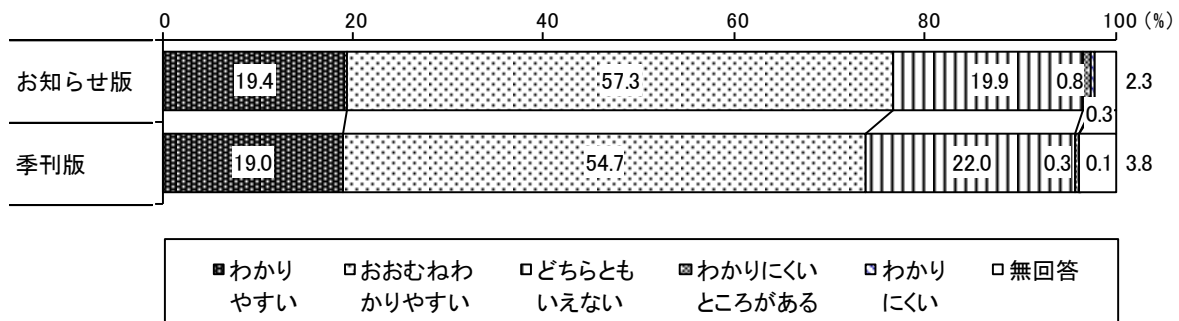


図 18-4 広報こしがや「お知らせ版」の  
わかりにくい点 (n=14)

内容	意見数
見づらい、読みづらい	3
文字が小さい	2
知りたい情報が少ない、見つけにくい	2
文章が理解しにくい、役所言葉が多い	2
内容が複雑すぎる	1
紙面だけでは詳しいことまでわからない	1
目次を付けてはどうか	1
デメリットも伝えてほしい	1
若い人が読みたくなるようなものを	1

図 18-5 広報こしがや「季刊版」の  
わかりにくい点 (n=5)

内容	意見数
知りたい情報が見つけづらい	1
文章が丁寧すぎる	1
お知らせ版に比べ見づらい	1
お知らせ版との違いがわからない	1
読む気がしない	1

## 19. 越谷市の施策について

- 市の施策について、ここ数年のうちで「よくなってきたと感じるもの」は「駅周辺の整備」が3割半ばで最も多い。
- 今後の市政の中で「特に力を入れるべきだと思われるもの」は「水害や地震などの災害対策」が約3割で最も多い。

図 19-1 よくなってきたと感じるもの  
(上位 10 位) (n=2,368)

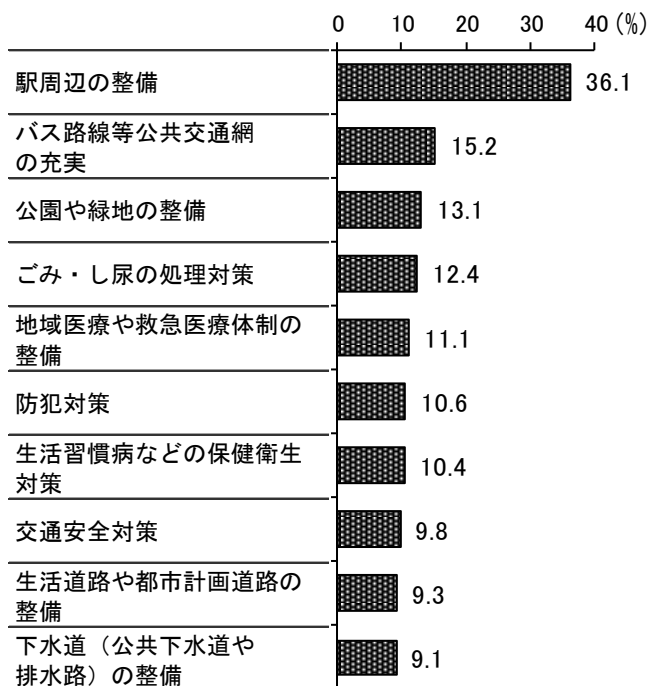
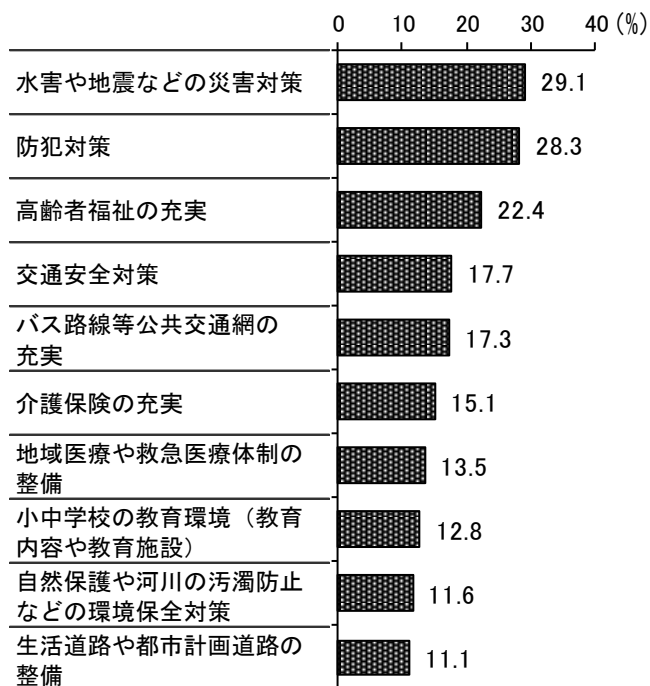


図 19-2 特に力を入れるべきだと思われるもの  
(上位 10 位) (n=2,368)





# 市政世論調査報告書 概要版

平成30年11月

---

発行：越谷市 市長公室 広報広聴課

〒343-8501 埼玉県越谷市越ヶ谷四丁目2番1号

電話 048-963-9117（直通）

---